

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あゆむいいで (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに対応したきめ細かな支援の形が整えられており評価をいただいている。	職員間の丁寧な打ち合わせと、きめ細やかな支援の方法の組み立てがある。	変化を見逃さない支援の目を大切に対応する。
2	活動室の適切なしつらえ、遊具や活動材料を豊富に適切に準備対応している。	気を散らすことなく、徹底的に遊び込むためのハード面がしっかりと確立されている。 例：気が散るような掲示物を貼らない等。	殺風景にならないハード面の工夫を検討する。
3	保護者との信頼関係が構築されており、適時の相談体制もある。	おかれている保護者や利用児の状況把握を常にしている。	・変化を見逃さない支援の目を大切に対応する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センター機能の発揮がまだまだ不足している面があるため、今後の展開を検討していきたいと思う。	・職員全体での課題抽出と地域の児童発達支援事業のリーダーシップを取っていくためどのような体制が必要か検討していない。	・研修を活用し、委員会の立ち上げを検討する。
2	・アナログな対応ではなく、デジタルを活用した対応の検討をしたい。	・例えば、年一回の保護者へのアンケート実施しているが、QRコードを活用の方法を検討せず、紙ベースで行っている。	・予算面等を含み検討する。
3	・外部の第三者評価を実施していない。	・要綱を作成していない。	・令和8年度に実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター あゆむいいで (児童発達支援)

公表日 令和8年2月13日

利用児童数

14名

回収数

14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、 子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。 ○支援プログラムはホームページ上に公表しております。	14					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析 された上で、個別支援計画(※3)が作成されていると思いますか。	14					
	8 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」等で子ども の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定 されていると思いますか。	14					
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動内容(※4)が固定化されないよう工夫されていると思います か。	14					
11 保育所・保育園や、認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の 子どもと活動する機会がありますか。	13		1				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について 丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング (※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	13			1	①入所したばかりなのでまだ詳しく 理解できていません。	①ご理解いただけるように適時説明 させていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況につ いて共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の 機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	13			1	入所したばかりなのでまだ詳しい事 まで理解できていません	ご理解していただけるように適時説明さ せていただきます。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていると ともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説 明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思 いますか。	14					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				
						ご意見を踏まえた対応	
① 今後ともよろしく願いいたします。				① こちらこそよろしく願いいたします。			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターあゆむいいで (児童発達支援)	公表日	令和8年2月13日
------	---------------------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		職員が減少1対3の支援の時もあるため適切ではないと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		サーキュレーターやが換気扇が汚れているため掃除する必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6			
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動内容の立案をチームで行っているか。	6			

供	18	活動内容が固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日職員間での情報共有が行われており、日々子どもたちの様子をお互い理解している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		気づいたことを共有板に残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所・保育園や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6			
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
30		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6			
31		保育所・保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		
32		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
33		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			家族同士、情報共有ができる場をもう少し増やしてはどうか。
34		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
35	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	6				
37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	42	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	43	事業所の行事に地域住民を招待したり地域行事に参加したりする等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		訓練は実施したことがないため、した方が良いのではないか。
非常時等の対応	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		